

古代出雲の縄文・弥生人骨から古代出雲人・日本人のルーツを探るロマンの共有を！

東京いずもふるさと会

古代出雲人人骨解析プロジェクト

出雲には、貴重な古代出雲の縄文・弥生人骨のお宝があります！



出雲市の猪目洞窟（縄文～古墳）

松江市の小浜洞窟（縄文後期）

松江市の古浦古砂丘（弥生）



先ず出雲市弥生の森博物館のご協力により猪目洞窟の古代人骨から、次いで島根県教育委員会の許可が得られれば小浜洞窟の古代人骨から、最新の DNA 解析技術を用いて、微量の核DNAを抽出します。

これによって得られた膨大なゲノム情報を解析し、古代出雲の縄文・弥生人ひいては日本人のルーツを探ります。

クラウドファンディング
による研究資金のご支援をお願いします。

検索 「Ready for」

[「https://readyfor.jp/projects/izumo17990」](https://readyfor.jp/projects/izumo17990)

実施期間：平成30年9月18日～平成30年11月19日



研究委託 国立遺伝学研究所
齋藤成也教授（右）
国立科学博物館研究員
神澤秀明博士（左）

ご支援戴く方法

ご支援を戴く支援金の目標金額は、200万円です。

ご支援戴く金額に応じて感謝の意をこめたリターンがございます。

リターン一覧表

支援金額	リターン	数量限定の有無
3,000円	お礼のメール・活動報告メール	なし
10,000円	お礼のメール・活動報告メール 活動報告をまとめた冊子・冊子に お名前 及び古代人骨DNA 解析 報告会（東京・出雲他予定）招待 券 2名様分	なし
20,000円	お礼のメール・活動報告メール 活動報告をまとめた冊子・冊子に お名前 及び古代人骨DNA 解析 報告会招待券2名様分 +お楽し み出雲特産品	なし
30,000円	お礼のお手紙・活動報告メール・ 活動報告をまとめた冊子・冊子に お名前+記念特製クリスタル・文鎮	記念特製クリスタル・文鎮 40個限定
50,000円	お礼のお手紙・活動報告メール・ 活動報告をまとめた冊子・冊子に お名前・古代人骨DNA解析報告 会招待券2名様分+神澤博士解説 付の国立科学博物館つくば研究 所のお宝見学(つくば駅送迎)	10人限定
100,000円	お礼のお手紙・活動報告メール・活 動報告をまとめた冊子・冊子にお名 前・古代人骨DNA解析報告会招待 券2名様分+島根半島古代遺跡を巡 る1日ツアー（現地出雲市駅発着） 無料参加券	10人限定

支援方法は、次のいずれかの方法をお選び下さい。

第1の方法 インターネットによる方法



- 1 「Ready for」を検索
- 2 「古代出雲から、縄文・弥生人のルーツを探る」プロジェクトを選択
- 3 メールアドレスの登録
Ready for用パスワードの登録
- 4 支援金額（リターン）を選ぶ
支払方法を選択
 - ① クレジットカード又は
 - ② ready for 宛ての銀行振込
- 5 クレジットカード 又は 銀行振り込みで送金
(銀行振り込みの場合には、画面に表示された振込番号を名前の頭に添えて 送金して下さい 例 33882タグチ テツロウ)
- 6 支援手続完了
- 7 目標金額に達しなかった場合には、Ready forから返金されます。
- 8 追って、後日、支援金額に応じたリターンをお届けします。

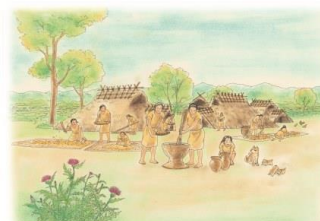
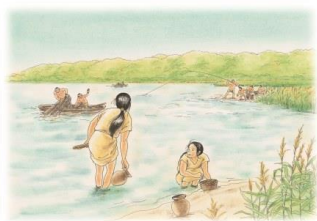


イラスト 画：早川和子氏

第2の方法 銀行振り込むにより事務局に直接送金する方法

前記2ページ記載の支援金額をお決め下さい。金額に応じてリターンがあります。

- 1 **先ず支援申込書(書式自由)を事務局あてFAXして下さい。**

事務局FAX番号 **03-6459-2632**

支援申込書は、特に書式はありませんので、A4判の要旨に以下の事項を記載してファックスでお送り下さい。

ご支援金額

ご住所

ご氏名

お電話番号

FAX番号

宛先 東京いずもふるさと会宛

(事務局にFAXでご連絡戴ければ、FAXで要旨をお送りしますので、それにご記入して返信して戴いても構いません。)

★ お電話での申し込み戴いた場合も、事務処理上、必ずFAXをお送り戴きますようお願いいたします。

- 2 **東京いずもふるさと会特別口座にご送金頂く。**

送金先

みずほ銀行 国分寺支店

普通預金

口座番号 **4437165**

口座名義 **東京いずもふるさと会**

(トウキョウイズモフルサトカイ)

だんだん・だんだん・ご支援に感謝します。

東京いずもふるさと会

古代出雲人人骨解析プロジェクト

代表 岡垣克則

他一同

1 プロジェクトに至る経緯と意義

(1) 出雲人は一体何者？

～関東在住の出雲出身のDNAから驚くべき発見！～

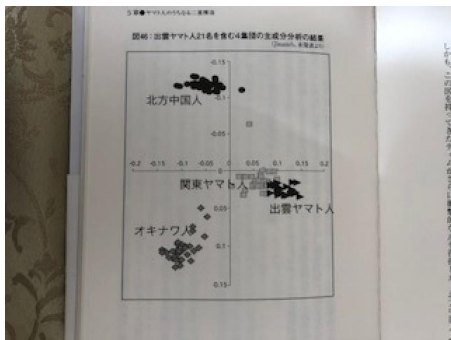
東京いずもふるさと会の会員の出身地出雲に対する郷土愛は、非常に強いものがあり、古代出雲王国の歴史に関心を持ち、出雲の古代文化に誇りを持つ会員は多数いました。

出雲は、神話の国でしたが、実際に、弥生時代の銅剣・銅鐸が多数発見され、四隅突出型墳墓も発見されるなど古代出雲王国の文化が栄えたことが明らかとなり、大国主大神の出雲大社を擁し、出雲弁の方言を話す特徴を有しています。

会員の岡垣克則（現会長）を始め出雲古代史に関心のある会員から、出雲出身者のDNAを調べてみれば、出雲人のルーツの解明ができるのではないかとの話が持ち上がり、2010年頃、当時の会長勝部領樹と岡垣が国立遺伝学研究所の斎藤成也教授にDNA鑑定を依頼しました。

当時、中国地方のDNAデータがなかったこともあって、斎藤教授の快諾を得、斎藤教授による出雲人DNA解析の研究が開始されました。

東京在住の出雲出身者21名が、東京大学医学部に赴き、徳永勝士教授の研究室で血液を採取され、結果を待ちました。



ほとんどの会員の予想として、関東ヤマト人よりも朝鮮半島の人々とDNA的に近い結果がでるだろうと予測していました。

ところが、斎藤教授から伝えられた結果は、衝撃的な内容で、出雲人のDNAは、関東ヤマト人よりも、朝鮮半島の人たちから位置的に遠く、縄文人

のDNAを関東ヤマト人よりも多く承継している東北地方集団の位置と似ているという結果でした。

(図は斎藤成也教授の著作物から)

私たち出雲出身者は、改めて、古代日本の歴史において出雲が中心的な位置を占めていたことを実感しました。

(2) 「出雲族が邪馬台国を立てた」という有力学説の登場

同時期に、著名な歴史学者村井康彦氏が、岩波新書から「出雲と大和」という本を出され、出雲族が奈良の大和に早くから進出し、邪馬台国を創

ったのは出雲族だった
という衝撃的な学説を発表されました。

(3) 民俗学の視点からの古代出雲人の日本全土への拡散

さらに、福岡県立大学の岡本雅亮准教授が、藤原書店から、「出雲を現郷とする人たち」が刊行され、「海の道」をメインに日本全国に出雲人が進出していった歴史を民俗学的に解明され、古代日本の歴史において出雲が中心的な位置を占めていたことがますます明らかとなってきました。

(4) 出雲から出土した人骨を調べよう！

(左は出雲弥生の森博物館提供)



今般、齋藤教授が[日本人の源流](河出書房新社)という本を出され、その中で、齋藤教授の研究室の神澤先生(現国立科学博物館)が、三貫地縄文人の人骨から大変なご苦勞の上、日本で初めて古代縄文人骨からの核 DNA の取り出しに成功され、日本人のルーツの解明の新しい

道筋を開拓されたことが分かりました。さらに、三貫地縄文人の人骨 DNA 解析の結果、日本列島にやってきた日本人の祖先は、現在の大陸に住んでいる人達よりも、もっと古い段階に分岐した人たちであることが分かり、日本人のルーツが振出に戻っていることが分かりました。

そこで、東京出雲ふるさと会の役員の会合の中で、それならば、中国地方の出雲の古代人骨 DNA を解析すれば、出雲の縄文・弥生人のルーツの解明とともに、日本人のルーツの解明に一役かうことができるのではないかと話が盛り上がり、島根半島の猪目に何かあったなということで、いろいろ調べてみたら、縄文から弥生、古墳時代にかけての遺物が出土しており、弥生人や古墳時代の人骨も発見されていることが分かり、現在、出雲市の出雲弥生の森博物館に保存されていることが判明しました。

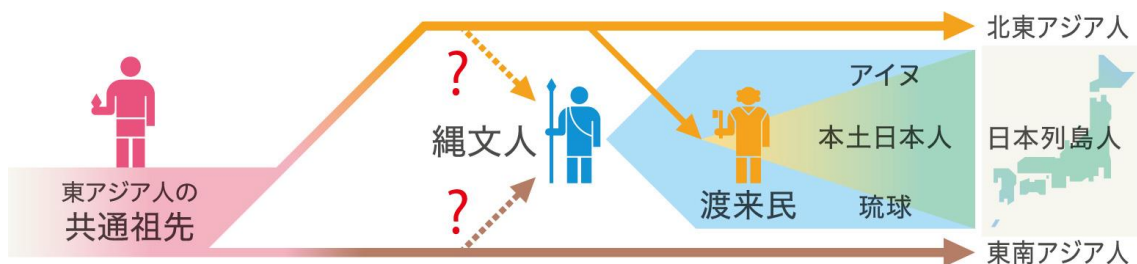
そこで、クラウドファンディングで古代人骨 DNA 解析資金を集め、齋藤教授に研究を委託して研究して戴くプロジェクトを立ち上げることになり、齋藤教授に研究をお願いしたところ、ご快諾戴き、さらに、出雲市の出雲弥生の森博物館にもご協力をお願いし、今回のプロジェクト実施となりました。

2 出雲人骨の解析は、「出雲人のルーツ」を探るだけではなく、日本人のルーツを探ることに繋がっていきます。

斎藤教授らの研究により、縄文人・弥生人といっても従来考えられていた遺伝的に均一な存在ではなく、縄文時代・弥生時代において、日本列島の東西で遺伝的な性格を異にする集団が居住していた実態が明らかになりつつあります。

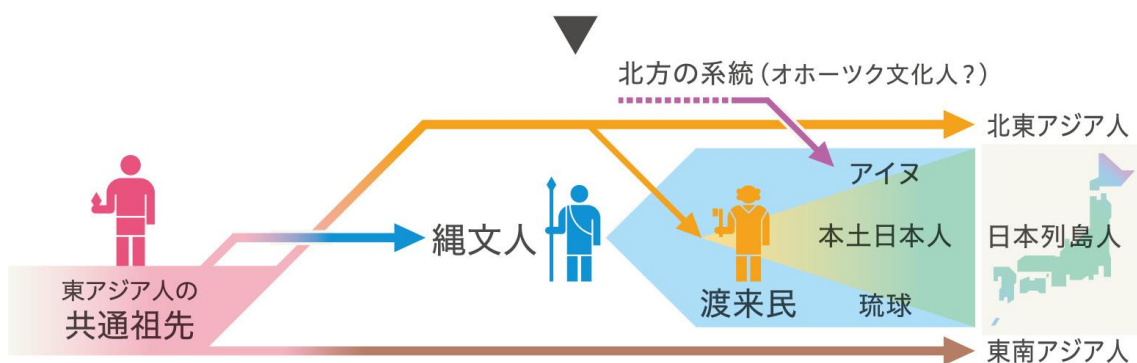
東北・北海道・長野・愛知県の縄文人の核DNA解析は進んでいますが、中国地方の古代人骨の研究は、山口県の土井ヶ浜の弥生人骨・鳥取県の青谷上寺地弥生遺跡は別として、人骨資料の蒐集が困難なこともあって遅れており、とりわけ、古代日本の中心地であった出雲の古代人骨のDNA研究は今までに全くなされていません。

核DNAの解析は、ミトコンドリアDNA解析に比べ、はるかに膨大な遺伝情報が得られるため、出雲古代人骨の解析は、「出雲人のルーツ」を探るだけではなく、日本人のルーツを探ることにストレートに繋がっていきます。



これまでの研究

縄文人は形態的に東南アジア人に近いが、DNA分析では北東アジア人に近いという結果が出ることもあった。



核ゲノムの解析から見てきた日本列島人の成立ち

縄文人は、これまで考えられていたよりも古い時期に孤立した独自の集団である可能性が出てきた。

(出典：「縄文人の核ゲノムから歴史を読み解く」神澤秀明 (季刊「生命誌」87号)

3 日本人のルーツの解明へ

古代DNA解析テクノロジーがヨーロッパで開発されたこと、日本ではお宝である古代人骨の破壊的分析を拒否する空気が少なくなく、神澤博士の三貫地縄文人の人骨からの核DNAの日本初の抽出まで、日本の古代人骨核DNA研究は世界に比べ立ち遅れた感を否めません。

出雲には、猪目の他にも、弥生時代の古浦遺跡（松江市鹿島町）から出土した人骨（九州大学総合博物館）や島根半島美保関の小浜洞窟から出土した縄文人骨など、核DNAを解析すれば、新しい発見が期待できる古代人骨のお宝がたくさんあります。

私達がクラウドファンディングで研究資金を集めることで、その資金により、日本の第一線の研究者とお宝の持主である博物館とのコーディネートが進み、古代人骨核DNA研究が加速し、日本人のルーツの詳細の解明が進むことを強く期待しています。

4 今回の取り組みを出雲の地域活性化にも繋がります。

クラウドファンディングによる研究資金集めには、広く、古代出雲文化の存在を日本全国の皆様にご理解いただき、今回のロマンを共有して戴く必要があります。島根半島の洞窟が脚光を浴びることにより、出雲が改めて古代文化の中心であったことが広く認識されれば、出雲への観光客の増大にも繋がるもの期待されます。

2020年1月から3月にかけて、東京国立博物館で、島根県と奈良県の協力による特別展「出雲と大和」が開催されることも決まりました。

今回の取り組みは、島根県の企画とあいまって、出雲地域の活性化をもたらすものと思われまし、地方自治体と民間団体が協力して地域活性化のためのクラウドファンディングによる様々な活動を展開していく一成功事例にしたいと思っています。

以上の次第ですので、皆様のご協力ご支援をお願いします。

問い合わせ先 東京いずもふるさと会・古代人骨解析プロジェクト

電話 03-6459-2382（事務局）

FAX 03-6459-2632

メール 会長 岡垣克則 okagaki-y@m3.gyao.ne.jp

事務局 田口哲朗 te-taguchi@nifty.com

出川 通 degawa@techno-ig.com

